

「弱い人たちには、弱い者になりました。弱い人たちを獲得するためです。すべての人に、すべてのものとなりました。何とかして、何人かでも救うためです。」…………… | コリント 9章22節

**まずJCE7協力団体としてご登録を!**

*Toshinori Ishida*



大会会長  
**石田敏則**

第七回日本伝道会議開催まで二年を切りました。新しいロゴが製作され、テーマソングの募集も始まり、少しずつ伝道会議への期待も広がっています。

コロナウィルスの感染拡大の中、各教団教派、教会も約一年に亘って様々な制限の中で、伝道の働きに従事されてきたことでしょう。これまでの伝道会議も時宜になつた実りあるものでしたが、第七回日本伝道会議は危機的なコロナ禍を経験した教会が、これからの日本の伝道・教会協力による宣教の拡大を見据え、日本のキリストにあるあらゆる立場の人々が共に集う場となることを願っています。

この会議は、単に会議を開催することが目的ではありません。この日本の国で一人でも多くの人々に福音を伝えるためにどのように協力できるのか、どのようなネットワークを作るのか、が実践される場として準備を進めています。パウロは立場が違う人や、異な

った考えを持つ人をさばくことなく受容することで、その人との接点を見出そうと努めています。「私は福音のためにあらゆることをしています。私も福音の恵みとともに受ける者となるためです。」と。福音は宣べ伝える人がその豊かさを体験するとともに、福音を信じた人の人生が変わる時、伝えられた人も無上の喜びに包まれます。この経験をもにさせていただきます。

**まず、協力団体としての登録を!**

この会議の主催は、第七回日本伝道会議実行委員会ですが、参加されるすべての方が開催協力者であり主催者です。一人もお客さんはいないのです。

この会議は、当日参加登録はできません。あらかじめ登録された方々により開催される会議です。JCE6では異端グループが参加登録をし、出席しました(事前に防ぐことが出来ましたが)。異端の侵入を防ぐための対策でもあります。

先ず、皆さんの教団、教派、団体が「JCE7協力団体」として登録をしてください。できるだけ多くの教団、教派、団体、教会、地域からご参加いただけるよう調整いたします。

会場の定員は約一〇〇〇人です。海外からの参加者や若い世代の方々にも参加枠を広げたいと

願っています。半年前の二〇二三年前半には、各団体に参加者数をお知らせします。

会議の半年前には参加者登録を終えて、オンラインなどにより事前会議にも出席していただきます。当日の会議を実りあるものとするために、「宣言文案」の説明や討議などを行います。

会場に集うことのできる人数は制限されますが、コロナ禍の中、多くの方々がオンラインによる礼拝や会議を数多く経験されてきたでしょう。今回の会議では、ITを駆使してより多くの方々に参加いただけるよう事務局担当者は検討を重ねています。

宣教協力の前進のために、お祈りとお支援を宜しくお願い致します。

**お知らせ**

JCE7にご参加いただくためには、JCE7協力団体としての登録が必要です。ご参加は団体(教団、教会、諸団体)からの派遣という形になります。JCE7公式サイト「JCE7協力団体登録フォーム」よりご登録ください。



協力推進委員長  
細井 眞

一九七四年に京都で開催された第一回日本伝道会議に於いて掲げられたテーマは「日本をキリストへ」でした。大変大きなテーマで始められた伝道会議は、二〇二三年に『おわり』から『はじめ』に『宣教協力』という、より危機意識とゴールを意識した会議を開催しようとしています。

これまでの会議も、教団教派の枠を超えて多くの人々が集い、宣教についての問題意識、必要な知識と知恵と方向性を共有してきました。この第七回の会議においては、これまでの主の恵みに感謝しつつ、私たちの現在の歩みを確認し、主のみどころを求めてゴールに向かいたいと考えています。会議では、

**ともに賛美し祈りたい**

私たちは神様に仕える者たちです。まず、集まって主を賛美し祈りの手を挙げていきたいと思えます。そうはいつでも教派を超えての賛美、礼拝は多種多様で統一できるものでもありません。し

かし、声を合わせてともに主を賛美し、祈る時に一致の思いが生まれ、それを主は喜んでくださるのではないのでしょうか。

**ともに知恵を得、考えたい**

同じ地域の教会であっても、個々の教会は色々な特徴を持っています。この会議の講演を通して私たちの宣教について大きな示唆をいただくことができることはもちろんですが、互いに交わり、意見を出し合い、考えることを通して、遣わされている教会での働きに適用できる知恵と知識を得ることが期待されています。

**ともに手を携えて行動したい**

会議後、集った方々が主からの新しい理念と新しいビジョン、戦略、計画を得て、教派を超え、地域を超えて助け合いつつ進むことができれば宣教は大きく飛躍するのではないのでしょうか。

最後に、私たちは、復活の主から『全世界に出て行き、すべての造られた者に福音を宣べ伝えなさい。』との大宣教命令を受けています。日本にある諸教団、諸教会、諸団体にご参加いただきたい、ポストコロナでの宣教の協同を目指し、ともに日本、そして世界に出て行きましょう。

開催地  
オープン集会  
を予定!!





JEA担当理事  
内山 勝

開催地委員会では、準備を進めるにあたって、先ず、めざすビジョンを明確にしようということになりました。話し合った結果は次のとおりです。

### 「神の国のインフルエンサーとなる」

- ① 共に主を喜び、主に礼拝をささげる。
- ② 主にゆだねられた東海地域の宣教協力体制を築く。
- ③ 神の国に生きることによって社会に影響を与えていく。

「この福音は、あなたがたが神の恵みを聞いて本当に理解したとき以来、世界中で起こっているように、あなたがたの間でも実を結び成長しています。」

(コロサイ1章6節)

「あなたがたは地の塩です。…あなたがたは世の光です。山の上に

ある町は隠れることができませ  
ん。」

(マタイ5章13、14節)

私たちは、二〇二三年のJCE7開催への具体的な準備に取り組みつつ、その先にあるさらに大切なもの、東海地域の宣教協力の飛躍的な前進をめざします。東海地域の諸教会が、過去の様々なわだかまりから解放され、キリストの愛に動かされて互いに仕え合うことによつて、その美しい姿を見る社会の多くの人々にまで影響が及ぶようにと願っています。

開催まであと二年弱となりましたが、各地域の牧師会に呼びかけて協力の輪を広げて行きます。本大会前後に計画しているフェスティバルでは、信徒の皆さんの賜物が結集されて、カ一杯主を讃美できるようにと願っています。大会前の日曜日、夕礼拝(聖餐)で始まり、大会後の日曜日午後、インターネットで広く繋がる礼拝で締め括ろうと考えています。JCE7が会議に終始するのではなく、主への礼拝が中心となるよう願つてのことです。全てが今後の宣教協力に繋がることを期待しています。

準備に携わる私たちが、主の喜びに満たされて楽しく奉仕できるようにお祈りください。

## JCE7 competition summary

### JCE7 (第7回日本伝道会議) 大会概要

開催日: **2023**年**9**月**19**日(火)~**22**日(金)

主会場: 長良川国際会議場(岐阜市)

大会規模: 会場1000名 オンライン有り



委員(協力推進)

井上義実



日本伝道会議は、篤い祈りの内に進められてきたことは間違いありませんが、祈祷のための特定の取り組みは無かったと聞いています。私の伝聞が間違っていればご指摘ください。JCE7の準備の中で、日本の宣教、教会は危機と変革期にあること、日本伝道会議もその成果を評価しつつ、この時代に向かったの新しい取り組みが重要視されています。私たちは今こそ、神様の前に膝を

屈め、祈ることを通して確かな導きを求め、この国に神様の圧倒的な業がなされていくために祈りましょう。

祈りの課題(6か月更新の予定)、祈りのカード(2年間使えるようにします)の発行、祈祷会を開催し、祈りの輪を広げていきます。祈祷会は第1回を開催2年前に当たる9月19日(日)に、コロナ禍で集まれませんのでYouTubeの録画配信で行いました。今後、毎月19日を祈祷日として新しい祈祷会の動画を更新する予定でいます。10月19日(火)に第2回をアップロードしています。祈祷会のための賛美の動画も募集しています。全国どこでも、何時でもアクセスいただき、祈ることができます。今の状況だからこそ、このことが備えられました。この機会を活かして皆様のお祈りをお願いいたします。

\* 祈祷会の動画は、JCE7公式サイト YouTubeチャンネルよりご覧いただけます。

### 祈りの課題

- 日本の教会／教団／諸団体が福音宣教のために具体的に一致協力できるように。
- そのためにJCE7とのその準備が用いられるように。
- JCE7の準備に当たる者たちが一つのチームとして用いられるように。
- 東海地域の諸教会が祝されるように。



### JCE7会場参加登録の流れ(期間は予定、オンライン参加の登録方法は検討中)

2021年10月～2022年8月	JCE7協力団体登録受付
2022年9月～12月	各登録団体の参加枠調整・決定
2023年1月～5月	各団体からの参加登録受付(個人参加はありません)
2023年9月	JCE7開催

### 発行:JCE7実行委員会事務局

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビルJEA気付  
Tel:03-3295-1765 (JEA) Email:jce7@jcenet.org  
公式HP <https://jcenet.org/jce7/> (「日本伝道会議」で検索)

